



地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成27年度 きこえとことばの基本研修会



第3回 ②「発音指導の実際(実習)」

第3回きこえとことばの基本研修会の後半では、石垣太郎教諭がお菓子等を用いた実習を交えながら発音指導についての話をしました。



発音学習

- 発音を明瞭にする
- 残存聴力を活用する
- 読話(相手の口を見る習慣をつける)
- 音韻に対して意識を高める

<発音学習で大切にしたいこと>

- うまくできないのは当たり前という気持ちで、子どもに接する。
- 「・・・がよかったね」など、何がどうよかったのか、子どもが分かるようにほめる。

最終目標

これらの学習を通して..

日本語を習得する！

発音指導は、母音にはじまり母音に終わる

子音は「ア・イ・ウ・エ・オ」いずれかの母音で終わるため、子音の学習へ進む上でも、母音をしっかり意識できていることが大切。

<母音の練習で気をつけること>

- 「ア・オ・ウ・エ・イ」の順に練習する。
- 口形が違う時、「もう少し・・・してください」と言っても子どもは分からないため、使うお菓子の大きさを調整したり、保健室にある歯列模型を使ったりする。



←口形に合わせたお菓子(大・中・小)やさきイカ、小粒のボーロなどを使うことで、子ども達に分かりやすい練習ができる。

u(ウ)の練習

小粒で穴が開いているお菓子を唇に挟み、口を小さくして発音する。うまくできない時には、細長いお菓子で奥舌をつついて上げるように伝える。



s(ス)の練習

上前歯裏と舌でストローを支え、水を泡立てる。泡立たない時は、息が漏れていることが分かる。



顎の開き	舌の位置	前母音	奥母音
小開き母音		i(イ)	u(ウ)
半開き母音		e(エ) o(オ)	
大開き母音		a(ア)	
開き方		平口	丸口

参加者の感想

☆発音指導は発音を明瞭にするために行うのだと思っていましたが、それだけではなく音韻に対して意識を高め、言葉を理解できるようにする力もつけていく目的があることが分かりました。実習を通して、舌の位置や息の出し方を覚えることは、自分の声が聞こえにくい中では、大変な学習だと感じました。それを継続して学習している子ども達は本当によくがんばっていると思いました。